

# Hollyland Solidcom C1 HUB8S

取扱説明書

V2.0.0

## はじめに

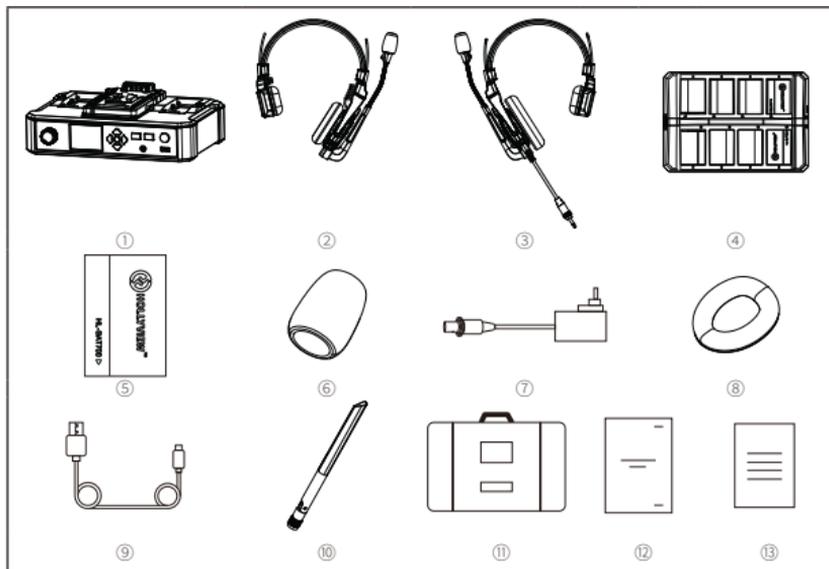
この度は、Hollyland Solidcom C1 全二重ワイヤレスインターコムシステムをご購入いただき、誠に感謝いたします。

Solidcom C1 HUB8S には、8 台の片耳リモートワイヤレスヘッドセット、16 個の充電式バッテリー、充電ケース、有線ヘッドセット付き HUB ベース、およびアクセサリが含まれています。

これは、ベルトパックを必要としない真の意味でのワイヤレス設計で、クリアなオーディオと一日中快適な装着感を提供する全二重ワイヤレスインカムシステムです。1.9GHz 帯で動作し、半径 350 メートルまでの信頼性の高い送信範囲（使用環境により変動します）を実現しました。

本取扱説明書では、機器の設置および使用方法について説明します。

## 本体と付属品

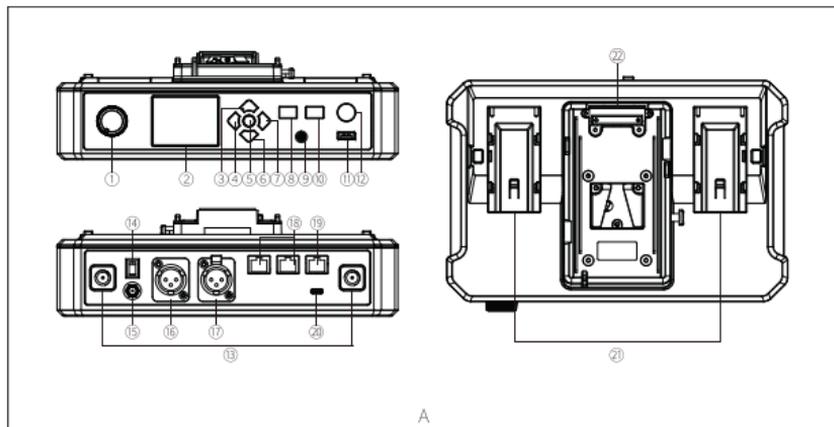


### Solidcom C1 HUB8S

①	ハブベース	x1
②	リモートヘッドセット (青いネームプレート付き)	x8
③	3.5mm有線ヘッドセット (赤いネームプレート付き)	x1
④	充電ケース	x1
⑤	バッテリー	x16
⑥	マイククッション	x9
⑦	12V2A DC/AC アダプター	x2
⑧	密閉型イヤークッション	x9
⑨	USB Type-A ~ Type-C 変換ケーブル	x1
⑩	ハブベースアンテナ	x4
⑪	収納ケース	x1
⑫	取扱説明書	x1
⑬	保証書	x1

注意：バージョンによって上記付属品の数量が異なることがあります。

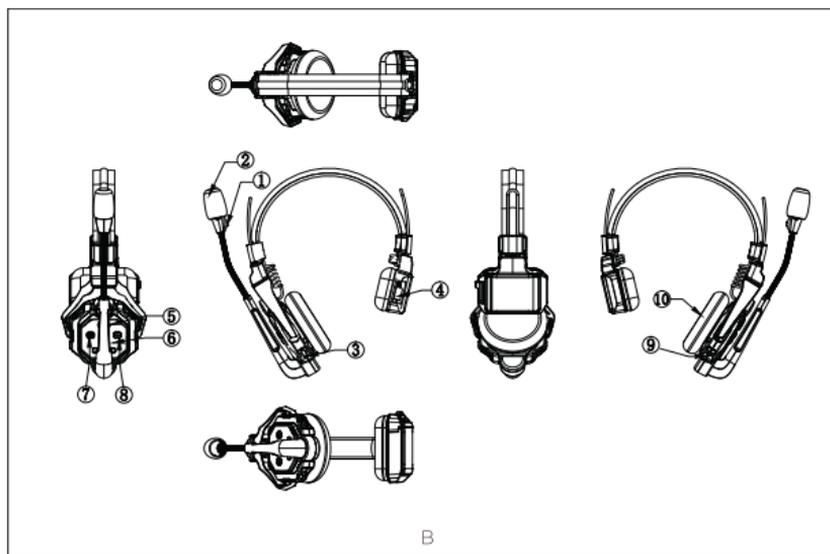
## 各部の名称



### A ハブベース

- ① 音量調整ダイヤル
- ② モニター
- ③ 上
- ④ 左
- ⑤ メニュー / 確認ボタン - 長押ししてメインメニューに入る / 1 回押しして確認する
- ⑥ 下
- ⑦ 右
- ⑧ A ボタン - グループ A に入ると点灯し、グループ A から離脱すると消灯します
- ⑨ 3.5mm ヘッドホンジャック
- ⑩ B ボタン - グループ B に入ると点灯し、グループ B から離脱すると消灯します
- ⑪ USB ポート
- ⑫ アナウンスボタン - ボタンを押しながらアナウンスをし、終了したらボタンを放します
- ⑬ アンテナポート
- ⑭ 電源スイッチ
- ⑮ DC 給電ポート
- ⑯ 3 ピン XLR ポート - PGM オーディオ入力
- ⑰ 3 ピン XLR ポート - 有線インターコムシステムとカスケード用
- ⑱ RJ45 デジタルネットワークポート - Solidcom C1 Hub とカスケード用 (IP カスケード)
- ⑲ 4W ポート - アナログネットワークポート、4 線式の機械とカスケード用
- ⑳ USB Type-C ポート - パソコンと接続する (UAC 機能)
- ㉑ NP-F バッテリー挿入口
- ㉒ V マウントバッテリープレート

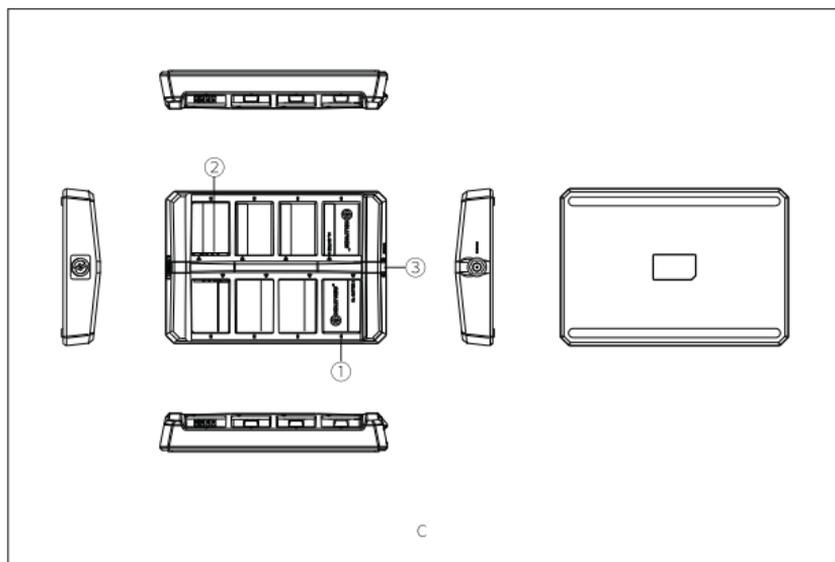
## 各部の名称



### B ヘッドセット

- ① 電源 / 接続状態ランプ
- ② マイク
- ③ USB Type-C ポート - ファームウェアのアップグレードとペアリング用
- ④ バッテリー挿入口
- ⑤ 音量 + ボタン
- ⑥ 音量 - ボタン
- ⑦ A ボタン - グループ A に入ると点灯し、グループ A から離脱すると消灯します  
5 秒長押しでペアリングモードに入ります
- ⑧ B ボタン - グループ B に入ると点灯し、グループ B から離脱すると消灯します
- ⑨ 電源ボタン
- ⑩ スピーカー

## 各部の名称



### C 充電ケース

#### ① 充電ランプ

オレンジ：充電中

緑：充電完了

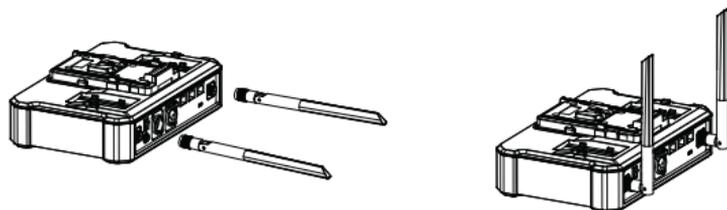
#### ② 充電接点

#### ③ DC 給電ポート

# クイックスタートガイド

## ハブベース

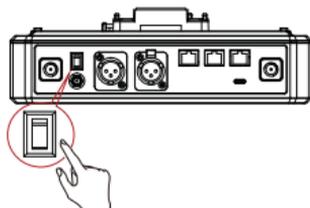
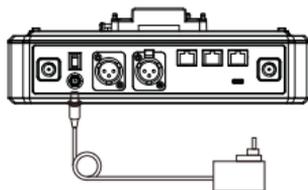
アンテナを取り付けます。



## ハブベースの電源を入れる

DC アダプターを接続します。

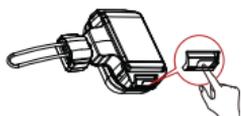
電源スイッチを押して、電源を入れます。



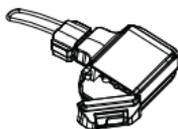
注意：ハブベースは、NP-F バッテリー、V マウントバッテリー、または DC 電源を使用して電源を供給できます。

# クイックスタートガイド

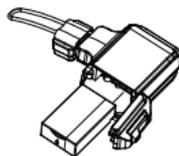
バッテリーをヘッドセットに入れる



ステップ1: バッテリーカバーロックをスライドさせます。

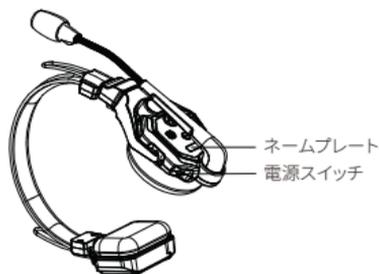


ステップ2: カバーを開けます



ステップ3: バッテリーを入れたら、バッテリーカバーを閉じます。

ヘッドセットをオンにする

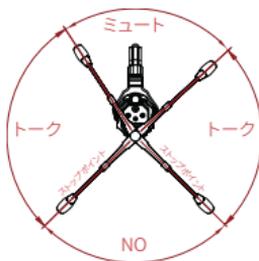


ネームプレート  
電源スイッチ

注意: ハブベースとリモートヘッドセットが接続すると、接続状態ランプの点滅が止まり、緑色で点灯します。

マイクのミュート / ミュート解除

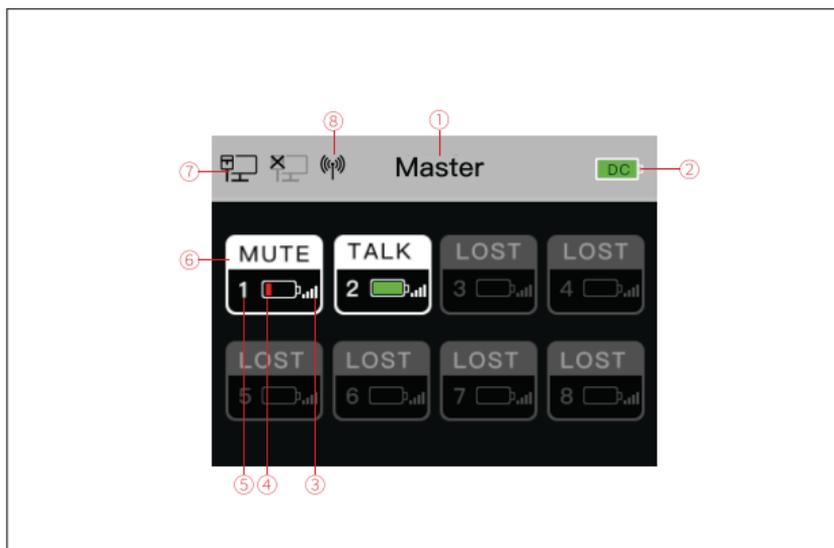
マイクブームを上下に動かして、ヘッドセットのマイクをミュート / トークの切り替えができます。



1. マイクブームをミュート位置 (カチッと音がする位置) まで上げると、ハブベースのモニターに、ヘッドセットの状態が「MUTE」と表示します。
2. マイクブームをトーク位置 (カチッと音がする位置) まで下げると、ハブベースのモニターに、ヘッドセットの状態が「TALK」と表示します。

この時点でデバイスは使用可能な状態になります。

# クイックスタートガイド



## ■ ハブベースのメイン画面

- ① ハブベース設定 - Master / Slave
- ② ハブベースのバッテリー残量
- ③ ヘッドセットの信号強度
- ④ ヘッドセットのバッテリー残量 - バッテリーが残量少なくなると赤に変化します
- ⑤ ヘッドセット番号
- ⑥ ヘッドセット状態  
TALK: 聞くことも話すこともできます。  
MUTE: 聞くことはできますが、話すことはできません。  
LOST: ヘッドセットとハブベースの接続が中断しました。
- ⑦ IP カスケード接続状態 -Solidcom C1 とカスケードする時の状態表示
- ⑧ WIFI 状態

# クイックスタートガイド

## ヘッドセット状態ランプ



- ① 緑で点滅：未接続
- ② 緑で点灯：接続されました。
- ③ 赤で点滅：バッテリー残量が少なくなりました。バッテリーを交換してください

## ペアリング操作

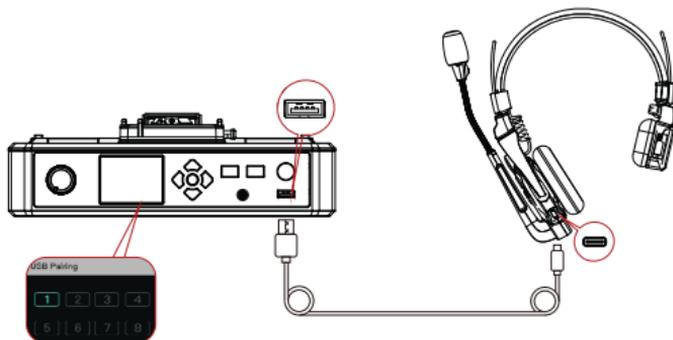
注意：ハブベースとヘッドセットは工場から出る前にもうペアリングされた状態で、電源を入れたらすぐ使えます。ペアリングが必要な場合はヘッドセットの追加またはハブベースを変更する時だけです。

ペアリングが必要なヘッドセットとハブベースを USB Type-A ~ USB Type-C ケーブルで繋ぎます。

ペアリングには必ず USB Type-A ~ USB Type-C ケーブルが必要です。

USB Type-A の端子をハブベース正面の USB ポートと接続し、USB Type-C の端子をヘッドセットの USB-C ポートと接続します。

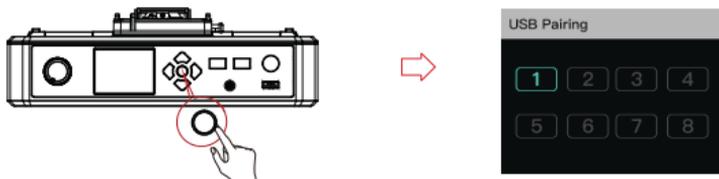
ハブベースに「Select Number」の画面が表示されます。方向キーで指定のヘッドセット番号を選び、確認ボタンを押して、番号の設定とペアリングを完了します。



# クイックスタートガイド

## ハブベース経由のヘッドセット番号設定

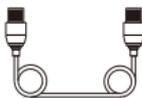
ヘッドセットを再度ペアリングして番号を付ける際には、番号が重複しないように、必ず全部のヘッドセットの電源を入れてください。さもないと、他のヘッドセットとの接続が失敗することがあります。ヘッドセットの番号を間違えた場合は、USB ケーブルでハブベースに接続し、再度ペアリングと番号付けの操作を行うだけです。



## カスケード

複数のセットをカスケード接続して、ヘッドセットの数を増やすことができます。Solidcom C1 ハブベースは、4 線式アナログと IP デジタル信号カスケードの 2 種類のカスケード方式をサポートしています。2 台のカスケード接続では一般に 4 線式アナログモードが使用され、3 台のカスケード接続では IP デジタル信号カスケードが使用されます。4 台以上をカスケード接続する場合は、この 2 種類を混ぜてカスケード接続します。4 組以上をカスケード接続する場合は、2 つのカスケード接続方法を組み合わせるようお勧めします。

カスケード接続では、CAT5e スーパーファイブネットワークケーブルと 568B シーケンス規格の RJ45 クリスタルヘッドを使用するようお勧めします。

標準ネットワークケーブル	ケーブル仕様	長さ
	CAT 5e CAT 6e	300m 以下

## 2 台のハブベースを 4 線式アナログカスケード接続

標準ネットワークケーブルを使用して、4W ポートを介して 2 台のハブベースを接続します。通常、ネットワークケーブルの最大長さは 300 メートルです。



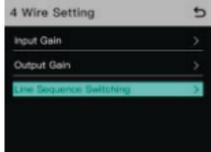
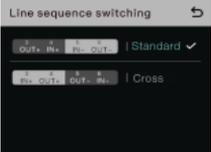
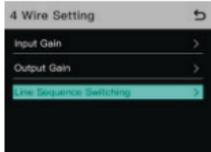
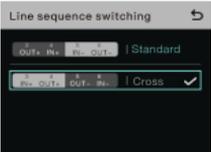
# クイックスタートガイド

## 4 線式設定

2 台のシステムをネットワークケーブルで接続した後、「4 Wire Setting」に進んで「Line sequence switching」を選択して、各ハブベースのラインシーケンスを設定します。

1 台目のハブベースを「Standard」に、2 台目のハブベースを必ず「Cross」に設定してください。

### ハブベース画面

HUB ①	「4 Wire」メニューに入り、「Line sequence switching」を選択します	「Standard」モードに設定
4 線式設定		
HUB ②	「4 Wire」メニューに入り、「Line sequence switching」を選択します	「Cross」モードに設定
4 線式設定		

## 2 台のハブベースを IP カスケード接続

標準ネットワークケーブルを使用して、RJ45 デジタルネットワークポートを介して 2 台のハブベースを接続します。ハブの 2 個の RJ45 ネットワークポートのいずれか一方が機能します。通常、ネットワークケーブルの最大長さは 300 メートルです。



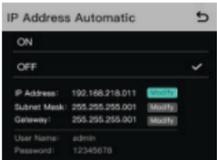
# クイックスタートガイド

## ハブベース設定

2 台のハブベースをネットワークケーブルで接続した後、各ハブベースの基本設定を「Master Device」または「Slave Device」に設定します。通常、1 台目のハブベースが「Master Device」に設定され、2 台目のハブベースが「Slave Device」に設定されます。

この場合、両方のハブベースの「Network」設定で「IP Address Automatic」を OFF にする必要があります。

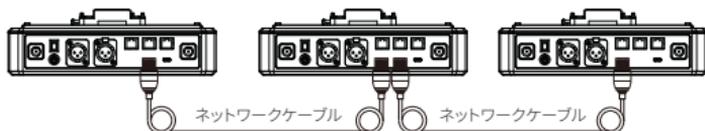
## ハブベース画面

HUB ①	「Network」メニューに入り、「IP Address Automatic」を「OFF」に設定します	「Master And Slave」メニューに入り、「Master Device」を選択します
ネットワーク設定		
HUB ②	「Network」メニューに入り、「IP Address Automatic」を「OFF」に設定します	「Master And Slave」メニューに入り、「Slave Device」を選択します
ネットワーク設定		
	「Scan」を選択して入ります。画面に Master の IP アドレスが表示されます。方向キーを使用して IP アドレスを見つけ、確認ボタンを押します。	

## 3 台のハブベースを IP カスケード接続

### カスケード接続方法

3 台のハブベースをカスケード接続する場合は、IP ネットワーク接続を使用するようお勧めします。1 台目のハブベースを「Master Device」に、2 台目と 3 台目のハブベースを「Slave Device」に設定します。



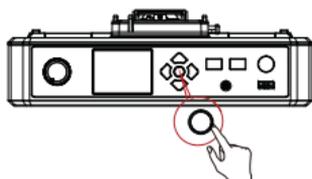
# クイックスタートガイド

## グループ設定

ハブベースは、A と B のグループ分け設定をサポートしています。ハブベースの「Group」メニューに入ると、システムの現在のグループ分け設定が表示できます。グループ設定を操作するには、ネットワークケーブルを使用して、LAN 経由でコンピュータとハブベースを接続し、グループ設定メニューに入ります。もしくは、スマートフォンに Solidcom アプリをダウンロードし、WiFi 経由でハブベースに接続して、グループ分け設定メニューで設定します。

### グループ分け設定を確認する

操作方法：



確認ボタンを長押しして、グループ設定メニューに入ります

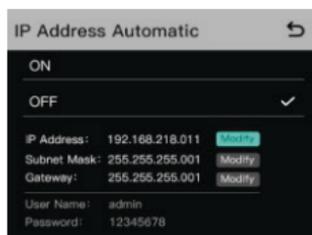


ハブベース画面

### パソコンによるグループ分けの操作

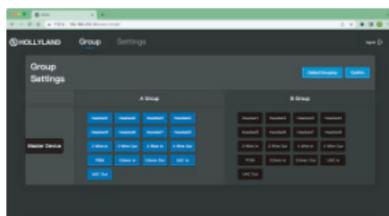
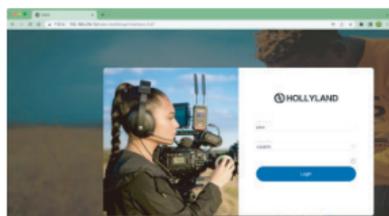
ハブの「Network」メニューに入り、「Wirednetwork settings」を選択してハブの IP アドレス、ユーザー名、パスワードを表示します。

ネットワークケーブルを使用し、RJ45 ネットワークポート経由でコンピュータとハブを接続します。パソコンの IP アドレスを [192.168.218.xxx]、ハブの Default IP アドレスを [192.168.218.10] に設定します。



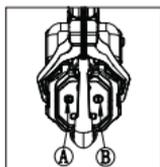
# クイックスタートガイド

コンピュータで「http://192.168.218.10」を開き、ハブの設定ページに入ります。



ハブでグループ設定に入ると、接続されているヘッドセットの A ボタンと B ボタンが点灯します。

ボタンの状態は、ヘッドセットが参加しているグループを示しています。ヘッドセットの A または B ボタンを押して、対応するグループに参加 / 離脱します。



A および B ボタンの点灯状態	状態
点灯	ヘッドセットが対応するグループに参加し、同じグループ内の他のヘッドセットと会話できる場合、A または B ボタンが点灯します。
消灯	ヘッドセットが対応するグループを離脱すると、A ボタンまたは B ボタンが消灯します。

伝送範囲	見通し 350m
周波数に関する情報	周波数帯域:1.9GHz DECT (国や地域によって異なる) 変調方式:GFSK 送信電力:<21dBm (125.9mW) (国や地域によって異なる) 受信感度:<-90dBm
伝送遅延	<35ms
バッテリー容量	700mAh (2.66Wh) リチウムイオンバッテリー
ヘッドセット動作時間	リモートヘッドセット: ≈ 10 時間
充電時間	≈ 2.5 時間
周波数特性	150Hz~7kHz
SN 比	>55dB
歪み率	<1%
マイクの種類	コンデンサマイク
最大入力音圧レベル	>115dBSPL
出力音圧レベル	標準 98 ± 3dBSPL (94dBSPL 1kHz)
ハブベース重量	≈ 1300g (アンテナ含まず)
ヘッドセットの重量	≈ 170g (バッテリー含む)
温度範囲	動作温度: 0 ~ 45°C 保存温度: - 20 ~ 60°C

注意: 国や地域によって、周波数帯や送信電力が異なります。

## 安全上の注意事項

バッテリーの過熱や破裂を防ぐため、ヘッドセットを加熱装置（電子レンジ、電磁調理器、電気オープン、電気ヒーター、圧力鍋、給湯器、ガスストーブを含むがこれらに限定されない）の近くまたは内部に置かないでください。

純正品以外の充電ケース、ケーブル、バッテリーは絶対に使用しないでください。

純正品以外のスペアパーツを使用すると、感電、火災、破裂などの事故を引き起こす可能性があります。

## サポート

製品の使用中に問題が発生した場合、または援助が必要な場合は、以下へご連絡頂くと、テクニカルサポートを受けることができます。

製品の使用中に問題が発生した場合、または援助が必要な場合は、次の方法でテクニカルサポートを受けてください。

 Hollyland User Group

 HollylandTech

 HollylandTech

 HollylandTech

 support@hollyland-tech.com

 www.hollyland-tech.com

**宣言文：**

すべての著作権は、Shenzhen Hollyland Technology Co., LTD に帰属します。

**商標に関する宣言文：**

Shenzhen Hollyland Technology Co., LTD の書面による承認なしに、いかなる組織または個人も、本文の内容の一部または全部を無断でコピーまたは複製することはできず、またいかなる形式でもこれを配布することはできません。

本書に記載されているすべての表現、情報、推奨事項は、明示または黙示を問わず、いかなる種類の保証を行うものではありません。

**注意：**

本クイックガイドは、製品のバージョンアップグレードなどの理由により、随時更新されます。別段の合意がない限り、本書は使用に関する指示のみを目的として提供されます。本書に記載されているすべての表現、情報、推奨事項は、明示または黙示を問わず、いかなる種類の保証を行うものではありません。

## FCC 要件

規制順守責任者より明示的に承認されていない変更または改造を行うと、本装置を操作するユーザーの権利が無効になることがあります。本装置は、FCC(米国連邦通信委員会)規則第 15 条の内容に準拠しています。次の 2 条件に従って動作するものとします。次の 2 つの条件に従って動作するものとします。

- (1) 本装置が有害な干渉を引き起こさないこと。
- (2) 本装置は望ましくない操作を引き起こす可能性のある干渉を含む、あらゆる干渉受信を受容しなければならないこと。

## FCC 輻射被ばく声明

本装置はテストされており、FCC SAR 制限に準拠しています。

**注意:** 本装置は FCC 規則第 15 条に定められたクラス B デジタル機器の制限について試験され、適合することが確認されています。これらの制限は住宅への設置における有害な干渉に対して妥当なレベルの防護を提供するためのものです。本装置は電波を発生または使用し、無線周波数エネルギーを放射する可能性があり、取扱説明書にしたがって設置および使用しなかった場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。また、特定の設置状況において干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機器がラジオやテレビの受信状態に有害な干渉を引き起こす場合(機器の電源をオンオフすることで確認できる)、以下の手段の一つ以上を適用してそれに対応するよう推奨されます:

- 受信アンテナの方向や位置を変える。
- 機器と受信機の離隔距離を大きくする。
- 機器を受信機が接続されているものとは違う系統のコンセントに接続する。
- 支援が必要な場合、販売店または経験を積んだラジオ / テレビ技術者に相談してください。